

病院事業会計決算

**1億8992万円の
単年度純損失**

平成24年度は、総合病院と扇田病院の2病院を合わせた病院事業会計として、8年目を迎えました。

総合病院では、DPC対象病院への移行や駐車場の拡張、扇田病院では外来のトイレ改修などを行い、病院機能の充実と医療サービスの向上に努めました。

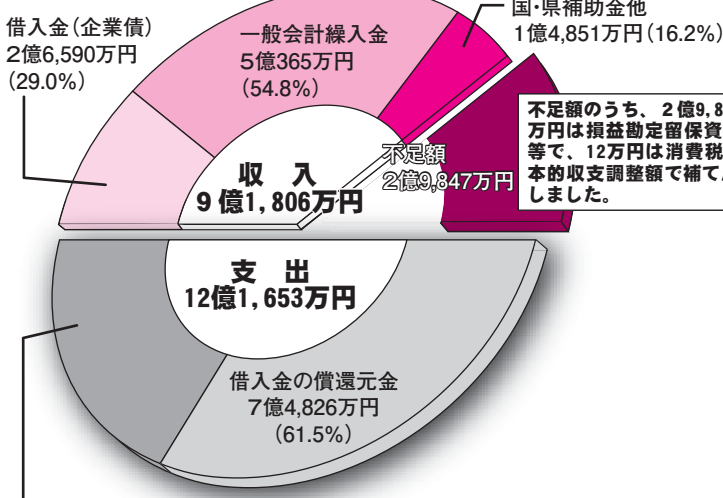
また、平成23年度に一部見直しを行った「改革プラン」の新たな数値目標の達成に向け、管理者を中心に経営健全化に向けて取り組みました。

その結果、事業収益は、DPC導入に伴う診療単価の伸びにより増加し、事業費用では、医療職員の増員に伴う給与費や医療の高度化に伴う材料費の増加があったものの、病院事業全体では前年度比9452万円の改善となる、1億8992万円の単年度純損失となりました。

この結果、24年度末時点の累積欠損金は13億1653万円となりました。

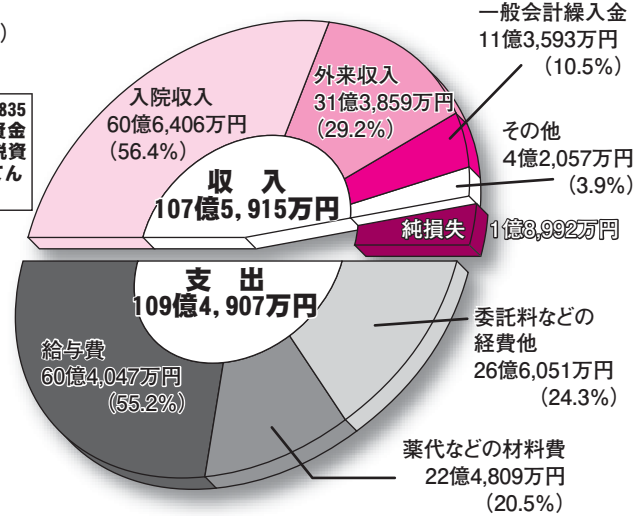
資本的収支(消費税込み)

(施設の整備に関する収支)



収益的収支(消費税抜き)

(事業の運営に関する収支)



不足額のうち、2億9,835万円は損益勘定留保資金等で、12万円は消費税資本的収支調整額で補てんしました。

平成24年度の業務実績

	総合病院	扇田病院
入院	入院患者数	133,773人
	1日平均患者数	367人
	診療単価	38,941円
外来	外来患者数	269,426人
	1日平均患者数	1,100人
	診療単価	10,457円
	病床利用率	82.7%
		91.8%

平成24年度の主な事業

〈施設設備整備事業〉

- ・西側駐車場の拡張整備(総合病院)
- ・放射線棟の空調設備整備(総合病院)
- ・車椅子用トイレへの改修整備(扇田病院)

〈医療機器等整備事業〉

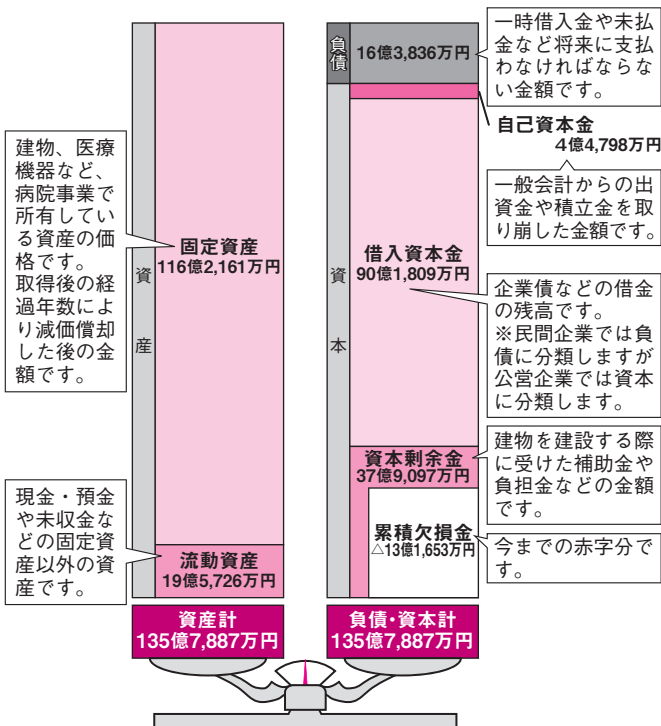
- ・マンモグラフィなどの医療機器を整備(総合病院)
- ・内視鏡ビデオ情報システムなどの医療機器を整備(扇田病院)

〈地域医療再生計画医療機器整備事業〉

- ・X線テレビシステムなどを整備(総合病院)

平成24年度 大館市病院事業貸借対照表

(平成25年3月31日現在)



建物、医療機器など、病院事業で所有している資産の価格です。取得後の経過年数により減価償却した後の金額です。

現金・預金や未収金などの固定資産以外の資産です。

一時借入金や未払金など将来に支払わなければならない金額です。

自己資本金

一般会計からの出資金や積立金を取り崩した金額です。

企業債などの借金の残高です。※民間企業では負債に分類しますが公営企業では資本に分類します。

建物を建設する際に受けた補助金や負担金などの金額です。

今までの赤字分です。